

非麻薬性鎮咳剤
劇薬

* ジメモルファンリン酸塩散10%「TCK」

《ジメモルファンリン酸塩散》

D I M E M O R F A N P H O S P H A T E

貯法：室温保存
使用期限：外装に表示

* 承認番号	22700AMX00152000
* 薬価収載	2015年6月
販売開始	1984年7月

**【 組成・性状 】

ジメモルファンリン酸塩散 10% 「TCK」は 1g 中にジメモルファンリン酸塩を 100mg 含有する白色の散剤である。
添加物として、ケイ酸 Al、乳糖水和物、バレイショデンプン、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

【 効能又は効果 】

下記疾患に伴う鎮咳

上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺および珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎

**【 用法及び用量 】

通常、成人（15才以上）には1回0.1～0.2g（ジメモルファンリン酸塩として10～20mg）を1日3回経口投与する。小児（8～14才）には1回0.1g（ジメモルファンリン酸塩として10mg）を1日3回経口投与する。但し、年齢、症状により適宜増減する。

【 使用上の注意 】

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - 糖尿病又はその疑いのある患者〔耐糖能に軽度の変化を来すことがある。〕
 - 薬物過敏症の患者
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^(注)	発疹等
精神神経系	めまい、眠気、頭痛・頭重、脱力感、倦怠感
消化器	口渇、食欲不振、悪心、嘔吐、下痢等
循環器	頻脈、動悸、顔面潮紅

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

- 高齢者への投与
高齢者では減量するなど注意すること。〔一般に高齢者では生理機能が低下している。〕
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

**【 薬物動態 】

溶出挙動

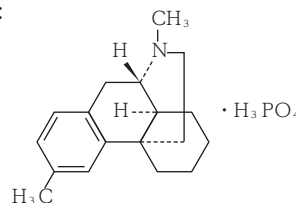
ジメモルファンリン酸塩散 10% 「TCK」は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められた溶出規格に適合していることが確認されている。¹⁾

*【 薬効薬理 】

非麻薬性中枢性鎮咳薬で、鎮咳効果は麻薬性のものに及ばないが、耐性や依存性がないという利点がある。作用機序は咳中枢の抑制であるが、オピオイド受容体とは異なる受容部位に結合することによって考えられている。²⁾

【 有効成分に関する理化学的知見 】

一般名：ジメモルファンリン酸塩（Dimemorfan Phosphate）
化学名：(9S,13S,14S)-3,17-Dimethylmorphinan monophosphate
分子式：C₁₈H₂₅N・H₃PO₄
分子量：353.39
融点：約265℃（分解）
構造式：



性状：白色～微黄白色の結晶又は結晶性の粉末である。
酢酸（100）に溶けやすく、水又はメタノールにやや溶けにくく、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

**【 取扱い上の注意 】

安定性試験

室温保存（室温、6ヵ月）、照射（37℃、1000ルクス、2ヵ月）及び加温加湿（40℃、湿度80%、3ヵ月）の各条件下での安定性試験の結果、ジメモルファンリン酸塩散 10% 「TCK」は経時的に安定であると考えられた。³⁾

**【 包装 】

500g

*【 主要文献 】

- 辰巳化学株式会社：溶出試験
- 第十六改正 日本薬局方解説書
- 辰巳化学株式会社：安定性試験

【 文献請求先 】

主要文献に記載の社内資料につきましては下記にご請求下さい。
辰巳化学株式会社 薬事・学術課
〒921-8164 金沢市久安3丁目406番地
TEL 076-247-2132
FAX 076-247-5740



製造販売元
辰巳化学株式会社
金沢市久安3丁目406番地